

ベスト フレンズ

箭山如水会福岡支部便り

No.17



平成30年3月発行

箭山如水会福岡支部

支部長 中野 久米夫

事務局 : 千813-0001

福岡市東区唐原3-9-2 城戸崎方

TEL 092-672-5764

編集責任者 城戸崎 重夫

同窓会へのお誘い

支部長 中野 久米夫 (45年商業科卒)

総会へ一度きんしゃい

昨年の福岡支部は平成29年5月20日(土)西鉄グランドホテルに於いて、第7回総会を開催したところ、総勢39名、内訳では会員の参加者は28名。前年より5名増。来賓者は11名という結果となっています。例年との違いは懇親会での余興を少なくして、お互いの情報交換を主体にしました

同窓会本部、北九州支部の方々の出席を予定しており、それぞれの最新情報(ふるさと情報含む)を聴けるなど年一回の機会です。そこで「ベストフレンズ」ご覧の方々には是非一度、総会への出席を切にお願いしたいと思いますし、実感して頂きたいと思います。もし、叶うならば同期の方々をお誘い頂ければ、尚一層総会が盛り上がるのではと思っています。母校のホームページ等で本部並びに各支部等の情報が入手出来ますし、いろんな提案・意見・疑問あれば、事務局にご連絡して頂ければ幸いです。福岡支部としての活動は現在ゴルフ会、秋の一泊旅行等実施していますが参加人員が増加すれば、いろんな趣味の会が出来るのではないかと考えています。最後に今一度「総会にきてみんな」役員一同お待ちしております。



がいかがでしたでしょうか。年4回役員会議において、会員増強の議論をしていますが成果はなかなか出てきません。理由としては今まで参加していた人が高齢化により体調不良で出席が出来ない。新しい参加者が少なく、又社会的現象で定年延長、個人情報の問題もあります。第8回総会が来る30年5月19日(土)場所が変わりますが西鉄ソラリアホテルにて開催します。従来と同様母校の校長先生をはじめ



箭山如水会福岡支部の平成29年度活動状況

年月日	行事名	場所	参加者など
29年4月21日	第9回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	ムーンレイクゴルフクラブ・鞍手	21名参加(福岡支部より7名参加)
5月20日	第7回箭山如水会福岡支部総会	西鉄グランドホテル	39名参加
9月30日	箭山如水会北九州支部総会	ラ・メール雅(門司)	福岡支部より5名参加
10月23日	第10回福岡・北九州支部合同ゴルフ会	福岡国際CC・中山コース	15名参加(福岡支部より7名参加)
10月16~17日	平戸一泊旅行	平戸・サムソンホテル	12名参加
11月11日	箭山如水会本部総会	グランプラザ中津ホテル	福岡支部より5名参加
30年1月27日	沖代会・役員新年会	天神テルラ「花万葉」	11名参加

箭山如水会福岡支部役員会

年月日	行事名	場所	参加者など
29年5月3日	総会準備打合せ・決算報告	天神「西鉄ソラリア・トランスブルー」	13名参加
6月22日	総会反省会及び旅行打合せ	天神「西鉄ソラリア・トランスブルー」	15名参加
12月13日	忘年会・ベストフレンズ17号原稿依頼	さかな市場博多筑紫口店	12名参加
30年1月27日	新年会・総会打ち合わせ・役員人選	天神テルラ「花万葉」	11名参加

本部総会懇親会開催の報告

箭山如水会事務局長 木村 朋昭(40年機械科卒)

「ベストフレンズ」17号の発刊に心よりお慶び申し上げるとともにこれまでのご苦勞に対し感謝申し上げます。また、福岡支部役員の皆様には平素より同窓会活動にご尽力頂き衷心よりお礼申し上げます。さて、平成29年(第7回)中津東高校同窓会「箭山如水会」本部の総会・懇親会が11月11日(土)グランプラザ中津ホテルにおいて、各支部役員や恩師のご来場をいただき、同窓会員、総勢300有余名が出席して盛大かつ有意義に開催することができました。福岡支部からも中野新支部長をはじめ4名のご出席をいただき、とくに中野支部長には懇親会の乾杯のご発声もお願いいたし重ねて御礼申し上げます。本年度の本部懇親会については昭和54年の卒業生を中心に実行委員会を発足して鋭意検討を重ね準備を進めてきました。開催にあたっては中津市内の多くの企業・商店等より広告の協賛を頂きましたことも付記しておきます。さて、本部総会では2年目の野中忠昭会長(昭和36年商業科卒)のもと、1号議案、会務報告、2号議案決算報告などをご出席いただいた皆様の承認をいただき懇親会会場へ移動しました。今年の懇親会では当番生が司会、進行を受け持ち、母校の紹介では佐藤校長より本年在校生の進路状況、部活動の活躍を報告いただき、在校生元永航太さん(3年生)の演歌を2曲披露してもらいました。彼はいまや中津宇佐豊前ではいろんなイベントにも出演し中津東高校では時の人になっています。年明けの全国テレビ放映のU-18カラオケバトルで全国優勝という快挙をやってくれました。この様子はPC YOUTUBEでも観る事ができます。会は36年商業科

卒の矢野稚鶴子様の「宝船」の祝儀舞で始まり、アトラクションは市職員音楽部の演奏、キングレコード所属の末次恵子さんの歌謡ショウ、市内本耶馬溪町中津しもげ商工会女性部のみなさんによる禅海和尚をモチーフにした耶馬溪ばやしやお楽しみ抽選会などで会場はとて盛り上がりました。締めは市職員音楽部の伴奏で新中津東高校、中津工業高校、中津商業高校(旧中津東高校)時代の校歌を斉唱し、次期実行委員の昭和55年卒業生に引継ぎ、本部顧問小倉広光氏の万歳三唱で閉会しました。母校も本年4月に新中津東高校創立10周年迎えます。学校、PTA、同窓会が共に記念行事に向けて協力しあい新しい同窓会の節目にしたいと思っています。貴支部にも協力依頼をお願いすることがあると思いますがよろしくをお願いいたします。最後になりましたが、福岡支部の益々の発展と会員皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げ、総会懇親会開催の報告とお礼とさせていただきます。



事務局長 木村



関西支部便り

関西支部長 小倉 利幸(37年商業科卒)

福岡支部の皆様、ご健勝でお過ごしのこととご拝察申し上げます。この度のベストフレンズ17号ご発行を祝して心よりお慶びを申し上げます。さて、関西支部の第6回総会・懇親会も平成29年5月27日(土)ネストホテル大阪心斎橋に於きまして、ご来賓の野中本部長、松林同副会長、松本同顧問、佐藤母校校長、そして元母校野球部監督の小林先生、キングレコード所属の同窓生末次様をお迎えし、総勢38名の集いでしたが無事晴れやかに開催することが出来ました。今回も体調不良等の理由で参加者が昨年より少なくなりましたが懇親会では小林先生の明るくユーモアあるテーブルスピーチで笑いの幕を開け、末次様の歌謡ショー、カラオケ大会、ビンゴゲーム等へ進みみんな熱く燃えて賑やかに宴を終えて、それぞれが余韻の覚めないうちに家路につかれました。また今年の佐藤校長の母校現状報告のなかで、“今年の野球部はヒョットしたらヒョットして甲子園も夢ではない”とのことでしたので関西では大変期待しておりましたが残念ながら!でも一時の楽しい夢を味わいました。処で関西支部は会員制同窓会ですので支部運営の核となる支部会員数が年々減少してきています。これも会員の高齢化

が進み、反面若い世代の加入が期待できない状態ですので今後の運営上、大変懸念しております。せめて東京オリンピックまで現状維持していきたいと幹事一同、知恵を出し合って頑張っ参ります。尚、部活動の歴史探索ウォーキングは10月18日奈良の飛鳥京古墳見学、又ゴルフコンペは亀岡ゴルフクラブで予定とおり決行しましたが、これも共に参加者が年々減少してきており寂しい限りです。最後に福岡支部の益々のご発展と皆様のご健勝ご活躍をお祈りしております。



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部

顧問 前岡 正人 (30年機械科卒)
筑紫郡那珂川町 電話:092-408-7736

祝!ベストフレンズ17号発行

副支部長 小関 昭太郎 (33年商業科卒)
福岡市城南区 電話:092-861-0607

第7回 関東支部総会だより

関東支部幹事長 花水 正平(32年商業科卒)

「ベストフレンズ」17号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。当支部の第7回定期総会は、本部の野中忠昭会長他役員と佐藤扇太郎校長先生をお迎えして、平成29年9月2日(土)アルカディア市ケ谷で総勢45名が出席し、賑やかに楽しく開催しました。総会は、新会長に堀 辰雄(34年機械卒)就任し4議事すべて承認され、ご来賓の野中会長並びに佐藤校長より本部と母校それに故郷中津の現況報告がありました。懇親会は名調子で元気な二宮義文さん(38年機械卒)の司会で進められ、本部の松林郁子副会長より中津弁で本部や耶馬溪について話され、ご挨拶をいただきました。イベントのトップバッターは、日本コロンビア専属で東京民謡会所属の美人歌手・江島ちあきさん(中津北高出身)の歌謡ショーで盛り上がり楽しみました。恒例のピンゴゲームは、女子会員(38年商業卒)により楽しく進められ、安心院の焼酎や菓子と梶川憲二さん(40年土木卒)寄贈の大きな千葉産の梨が当たる毎に歓声が上がりました。カラオケ大会は、エントリーが多く野中会長も自慢の歌を披露され、そして歌手の江島ちあきさんとのデュエットもあり、最後は衛藤省三さん(39年機械卒)と同級生が「ありがとう感謝」を熱唱し、最高に盛り上がりました。しかし、当支部の最大の課題は会員の高齢化と減少、それに若い会員の参加も少なく、年々厳しい状況で、運営費の確保

にも頭を痛めています。役員・幹事は体力及び気力の続く限り頑張っていきたいと思っています。結びに、福岡支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝とご多幸を祈念し、当支部のご報告と致します



第7回 中津東高等学校同窓会 関東支部総会

「平戸一泊旅行」

中野 久米夫 (45年商業科卒)

今回は役員会議にて平成24年度に旅行したところで前回ツアーの一つで船のクルージングにわけあり、参加出来ない人がいたので、どうしてももう一度行きたい希望を叶えるために再度「平戸」へ決定しました。ところが参加メンバーがいるんな理由にて途中まで9名で旅行。幹事としては苦慮するところですが致し方なく、参加メンバー 31年卒の市丸先輩をお願いして北九州・中津方面より3名参加して頂けることとなり、感謝致します。いよいよ平成29年10月16日当日生憎の雨でしたが、午前9時30分集合で遅れなく、12名全員揃いホテルのバスに乗り込み、都市高速經由西九州自動車道で一路、平戸方面出発。バスの中では久々の「再会」と翌日のクルージングを心配しながらの男性は酒盛り、女性は話に夢中で約2時間40分でホテル到着。昼食はホテルでのバイキングで「寿司」「刺身」等が新鮮で皆さん食べ過ぎたのではないのでしょうか。昼食の時に初めての参加された31年卒の部谷さんは、この旅行はいい「毎年参加したいなあ」と何度も言って頂き、幹事としては嬉しいものです。初日の最初の観光地「鄭成功記念館」へ東南アジアの英雄「鄭成功」が7歳まで育った生家を再現するとともに、「鄭成功」の偉業を顕彰し、後世に伝えるために再現された記念館であります。鄭成功は貿易商人の父と母は平戸の女性マツとの長男として1624年に平戸で生まれ、7歳で福建省安海へ移り、1638年南京大学へ進み「秀才の資格」を得て、1647年「抗清復明」の旗印を掲げ、南京攻略を試みるが失敗、勢力を立て直しのため台湾に渡り、1658年徳川幕府に請援の密書を送ったとのこと。1661年プロビンシア城を攻略し、台湾を解放して1662年39歳で病死。今現在でも記念日には台湾との交流しているようです。



見学後 川内峠でバスを走らせ、頂上行くも雨のため、車窓でありましたが海の中に数々の島が見えましたが天候良ければ、尚一層綺麗に見えたと思います。次は平戸教会へ行きましたが礼拝中では見えませんでした。がやはりキリスト教の町だなと感じたのではないのでしょうか。初日、最後の観光地「森酒造」試飲はいかがでしたか。何杯もお代わりした人もいたのではないのでしょうか。ホテルへ戻り、宴会までの2時間、温泉に浸かり今日の疲れを取り、肌のつやがよくなったのでは。いよいよ宴会に入り、昼食の沢山食した

方々は中々入らない人もいたのでは、段々時間が経つにつれ、カラオケでは大盛り上がりでしたね。日頃、歌えなかった人も沢山歌って満足していましたね。二次会では男性、女性別れての席でしたが男性は年齢のせいか酒はあまり進まず、世間話になりましたね。女性の方々はどうでしたか。翌朝、皆さん昨夜と違い、日頃の生活が戻り、お腹を空かし 7時30分なのに早々とロビーで待っていましたね。女性の方々は朝のクルージングはあるかどうかを心配して何度も幹事に確認して9時過ぎにあると決定した時の喜びようには幹事も安堵しました。いよいよ、意外と風がある中、バスで波止場に行き、防護服を着せられ、船に乗り込みましたね。他のお客様も一緒に



平戸湾を最初は助走運転でしたが終盤50k~60kのスピードで2隻競争の時は風のある波しぶきで顔は引きつり、髪は引っ張られ、立ってられない人は座り込む事態となり、皆さん興奮気味でした。日頃経験の少ないクルージング船を経験しましたね。陸に上がり、再度バスでの観光「田平天主堂」へ教会の煉瓦作りの建物で中に入っただけのステンドグラスの絵と建物の脇にキリストの十字架のお墓にお花を捧げましたが一種独特の雰囲気を感じましたね。福岡帰路の途中の道の駅「松浦ふるさと館」で昼食「ブリ丼定食」は新鮮で量多く、ごはんを残した人もいましたが美味しかったですね。ここで最後の沢山の買い物や博多駅到着となりました。又、来年の再会を祈りつつ、お互いの我が家へ向かって別れましたが無事に到着しましたでしょうか。後日クルージングの写真見ましたか。船のスピードと風で髪が靡いていましたね。ご参加の皆さんありがとうございました。



協賛広告ありがとうございます

「箭山如水会」に乾杯！
中津東高同窓会関東支部
幹事長 花水 正平(32年商業科卒)

祝！ベストフレンズ17号発刊
支部長 中野 久米夫(45年商業科卒)
糸島市 電話：092-324-8640

第9・10回福岡・北九州合同ゴルフ

前岡 正人 (30年機械科卒)

この合同ゴルフ会は、毎年春と秋の2回開催しています。

平成29年は、第9回を4月21日(金)に「ムーンレイクゴルフクラブ 鞍手コース」で、第10回を10月23日(金)に「福岡国際カントリークラブ」で開催しました。結果は下表の通りです。さて、本誌では第10回のゴルフ会について楽しかったゴルフ会の様子を一部紹介します。「福岡国際カントリークラブ」は女子プロの「ヤクルトレディースゴルフトーナメント」が昭和55年から平成11年まで行われていたことはご存じの方も多いと思います。台風21号が接近中で開催が可能かどうか直前まで世話人一同、気をもみながらの決行の判断でスタートとなりました。未明には四国に進み、当日はまずまずの天候となりました。今回は、九州北部を襲った豪雨での水害の影響から復興工事等の仕事が入るなど、参加できない方が多く、参加者は15名(福岡支部7名、北九州支部8名)4組となりました。いつもながら、遠く宇佐市からも参加があり、世話人としても感謝しています。

記念写真の全体写真を撮った後、恒例の前回優勝者の熊埜御堂英生(福岡支部・S33年商業卒)さんによる始球式でプレイ開始しま

した。優勝は、楠隆治(北九州支部・S37年土木卒)さんでした。プレイ終了後クラブハウスで表彰式を行い、次回の再会を誓い帰路につきました。今回は特に役員による話し合いを行い、次期役員を改選しました。よろしくお願いします。会長は大木敦夫(福岡支部S36年商業卒)・旧瀬口巖(北九州支部S30年商業卒)会計・案内状発送など世話人は中島文生(北九州支部S34年冶金卒)・旧 前岡 正人(福岡支部 S30年機械科卒)その他世話人は荒川 員允(北九州支部 S33年商業卒)城戸崎重夫(福岡支部 S40年商業卒)参加人員は増加の傾向にありますが更に新会員の入会大歓迎です。特に女性の方も参加して頂くと、もっと盛り上がると思いますので期待しています。ゴルフは高齢になってもプレイする方が沢山います。健康と元気をゴルフでキープしましょう。今年も4月に実施予定ですので多数の参加を期待しています。



第10回 箭山如水会福岡支部・北九州支部合同ゴルフ会
福岡国際CC中山アウトスタート 平成29年10月23日

	第10回ゴルフ会	第9回ゴルフ会
年月日	平成29年10月23日	平成29年4月21日
ゴルフ場	福岡国際カントリー倶楽部	ムーンレイクGC鞍手コース
参加人員・組	15人、4組、	21人、6組
優勝	楠 隆治(北九州37年土木卒)	熊埜御堂 英生(福岡33年商業卒)
準優勝	用正 昭則(北九州34年電気卒)	成重 欽吾(北九州39年商業卒)
三位	雌熊 慶年(北九州34年電気卒)	楠 隆治(北九州37年土木卒)

第9回福岡・北九州合同ゴルフ会優勝の弁

福岡支部 熊埜御堂 英生(33年商業科卒)

第9回箭山如水会ゴルフコンペは新録の好天のもとムーンレイクGCで開催されました。小生は2000年に定年退職し、前身の箭山会に初参加したのが、還暦の年でした。それから17年経ち喜寿の年になり、ようやく優勝する事が出来ました。

ゴルフコンペに参加したのは同期の荒川・稲尾両氏に入会を強く促されたのがきっかけでした。当時商業科から6名の同期が参加していましたが、現在は3名となり少し寂しい思いをしています。

私自身持病の腰痛がありますが、コンペに参加するために体調管

理に留意するようになりました。又、青春時代を過ごした、仲間と往時を振り返り談笑することが活力につながっていると感じています。最後になりましたがゴルフ世話人・前岡様には毎回ゴルフ場での全体、スナップ等の写真を送り頂き貴重な思い出となっております。厚く御礼申し上げます。ともに大会が更に発展することを心より祈念いたします。



第10回福岡・北九州合同ゴルフ会優勝の弁

北九州支部 楠 隆治(37年土木科卒)



第10回箭山如水会・福岡北九州合同ゴルフコンペには北九州支部時代から毎回の出席で入賞した事の無い私が今回は良きパートナーの友松さん、大木さん、城戸崎さんに恵まれて優勝することが出来ました。

特に今回からはグランドシニアのティーグランドを使用した事により距離も短く良いスコアで上がる事が出来ました。

年に2回のゴルフコンペですが毎回皆さんに会うことが楽しみです。今度、瀬口会長から大木会長へバトンタッチされ年齢も6歳若く成りゴルフ会をお世話していただける事に感謝しています。次回も出席して連続優勝ができるように練習して頑張りたいと思います。



「日本遺産」認定、ふる里
”中津耶馬溪”への旅に出かけましょう!!

祝! ベストフレンズ17号発刊
本部長 野中 忠昭 (36年商業科卒)
中津市三光臼木 電話:0979-43-5495

太宰府天満宮の謎 No.2

相部 喜久代(43年商業科)

最近地域の歴史を学ぶ会に入会して近くの歴史を学んでいます。そのなかで身近に感じて親しみやすい太宰府天満宮について前号に続き掲載いたします。天神さま(菅原道真公)をお祀りする全国約12,000社の総本宮と称(た)えられ、「学問・至誠・厄除けの神様」として、ご崇敬(すうけい)を集めています。

◎菅原道真公はこんな人

太宰府天満宮所蔵の菅原道真公の掛け軸に今から1150年ほど前に京都で生まれた菅原道真公。当時は学問がとて盛んで、学界が大きな力を持った時代でした。抜きんでて学問ができた道真公は、中国語が堪能であったことから外交の際に万葉集を中国語に翻訳して唐に贈ったといわれます。道真公は、日本で最初の百科事典と考えられる『類聚国史』(るいじゅこくし)の編纂(へんさん)も行いました。これは私の考えですが、中国の漢字を日本の仮名の中に訓読みとして振り分けていったのも道真公ではないかと推測します。なぜなら、あの時代に道真公ほど中国語を使いこなし、学問に秀でた人はいなかったのですから。そういう意味で、彼は「日本文化」の基礎を築いた人といっても過言ではないと思います。およそ800年後の江戸時代に天神信仰ブームが起こったことから、道真公がいかにすぐれた人であったか、また、いつの時代も人々に尊敬されていたことがうかがえます。道真公については、趣味もわかっています。子どものころからずっと菊が好きだった道真公は、虎が口を開いたかのような大輪菊をつくっていたのだとか。大宰府に来てからは自分が書いた本を売って、少年から菊を買っていたそうです。道真公の人間性が伝わるエピソードだと思いませんか？

◎大宰府(だざいふ)と太宰府のちがいは

1、『大宰府』は大昔に置かれていたお役所の呼び名。そのお役所があった場所を後に『だざいふ』と呼ぶ様になりましたがお役所と同じ地名では恐れ多いとして『太宰府』と表記する様になったと言われています。

2、現在『大』を使うのは『大宰府政庁跡』を示す場合だけで地名表記は全て『太』となっています。

◎太宰府天満宮と12頭の牛

①承和12年乙丑6月25日すなわち丑年(うしどし)に菅公が生誕したというので、牛が天神に付会された。

②菅公が死去し、墓を築いて葬らんとして喪(も)の車を引き出しましたが、途中で牛車が動かなくなったので、その場所に埋葬したが、そこがのちの大宰府天満宮である。

③「天満大自在天神」という神号から発生するもの。天満大自在天神というのは、菅丞相(かんしょうじょう)の霊なりとしており、



仏教では大自在天神は白牛に乗るとされているので、天満大自在天神である菅神は当然に牛に乗るということから、天神に牛が仮託(かたく)せられてきた。

④道真公のもう一つの神号「日本太政威徳天」(にほん だいじょう いたくてん)も、密教の大威徳明王(だいいとくみょうおう)に由来されており、この明王のみが牛に騎乗する姿で表現されることから。

⑤うずくまっている牛の石像(石仏)には、諸病平癒(しょびょうへいゆ)の力があると考えられた。道真が牛車を引く牛を可愛がったという伝承によったものである。

⑥道真公が大宰府に落ちて行く途中で、命を狙われた時、白牛に助けられたことから。菅原道真はなぜ日本人最初の「神」になったのか、実在の人間が、死後、神として神社に祭られた事例は、太宰府天満宮の菅原道真公が第1号なのです。菅原道真は「天神様」として有名ですが、正式名称は「大自在天神(だいいじざいてんじん)」です。宇佐八幡宮(神宮皇后や応神天皇)など、架空、あるいは実在が疑問視されている人物の事例は除きます。

◎相次ぐ変死事件

延喜3(903)年の道真の死後、政敵・藤原時平は妹の穂子(おんし)を醍醐(だいて)天皇の中宮とするために入内させて天皇との関係回復に努めたほか、政治への意欲をみせていた。ところが、道真の死から3年後、「道真に不穏な動きがある」と当時、皇室の秘書室長ともいわれる蔵人頭(くろうどのとう)だった藤原菅根(ふじわらすがね)とともに朝廷に報告し、道真の後任として右近衛大将(うこんえのだいしょう)に就任した藤原定国が謎の死を遂げる。すると今度は、それから2年後の10月7日、菅根までもが雷に打たれて亡くなるという。このころ疫病が蔓延(まんえん)した都。天竺(てんじく)の妙薬も効きめなく病床に伏せていた時平のために天台宗(てんだいしゅう)の僧、浄蔵(じょうぞう)に加持祈禱(かじき)をさせようとした文書博士、三善清行(みやしの きよゆき)の前に道真は龍となって現れたといわれる。その怨念(おんねん)はいかばかりか。これ以降、宮廷の中で道真の怨霊の噂(うわさ)がとりざたされると、時平の死から4年後、時平派で道真の後任として従二位に就いた源光(みなもとのひかる)も夕力狩りの最中、泥沼に落ちたまま行方不明になる事故が発生する。次々と消えていく時平派の貴族ら。都では、さらに報復の度合いを増していく道真の見えない怨念に震えあがることになる。



協賛広告ありがとうございます

箭山如水会 福岡支部

顧問 大木 敦夫 (36年商業科卒)
福岡市城南区 電話:092-861-5053

ニードラゴン洋菓子店

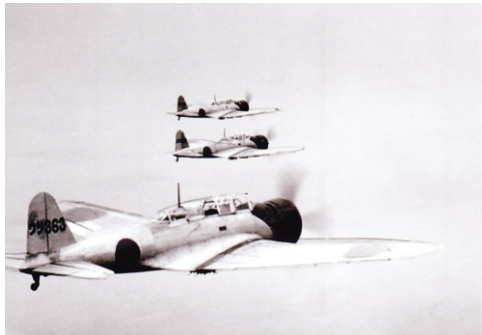
笠木 智恵子 (31年商業科卒)
別府(流川店,東荘園店) Tel0977-24-6045

故里にあった「宇佐海軍航空隊」

高橋 和昭(42年商業科卒)

実家の近くに、かつて「宇佐海軍航空隊(宇佐空)」があった。

宇佐空は昭和14年10月1日、艦上攻撃機(艦攻)・艦上爆撃機(艦爆)の練習航空隊として宇佐郡柳ヶ浦村に開隊した。海軍飛行予科練習生(予科練)が宇佐空の実戦機で仕上げの訓練を受けた。宇佐空には九七式艦攻、九九式艦爆の実戦機が配備されていた。宇佐空を卒業すると基地航空隊や空母の航空部隊に配属されていった。昭和16年10月、空母「翔鶴」「瑞鶴」の艦攻・艦爆隊が宇佐空に駐留し鹿児島島の錦江湾をハワイ真珠湾に見立てて猛訓練を



行っている。12月8日、日本は米英に宣戦布告して海軍第一航空艦隊(空母6隻)がハワイ真珠湾を攻撃した。宇佐空卒業生も海鷲と呼ばれ続々と戦地へ送り出されていった。昭和18年になると勤労奉仕隊が動員され掩体壕が造られ始め

ている。旧制中津中学校や旧制宇佐中学校の生徒も掩体壕構築工事に動員されている。この年、大学、高等学校、専門学校(いずれも旧制)等の高等教育機関に在籍する文科系学生の徴兵延期措置が撤廃され、生徒出陣が行われた。宇佐空にも生徒出陣して海軍飛行予備学生となった生徒出身者が入隊した。昭和20年になると戦況の悪化にともない宇佐空も緊迫してくる。3月、第十航空艦隊(十航艦)が編成され宇佐空も所属し実戦航空隊となって第五航空艦隊(五航艦・司令部鹿屋基地のち大分基地)の指揮下に入った。4月、米軍が沖縄へ上陸してくると宇佐空から特攻隊(神風特別攻撃隊八幡護皇隊)が編成され、艦爆隊は国分基地、艦攻隊は串良基地へ進出し沖縄へ特攻出撃した。以後次々と特攻隊が編成され出撃していった。宇佐空から出撃した特攻機は82機、戦死者は154名にのぼる。宇佐空は10回も空襲や機銃掃射を受けている。柳ヶ浦は多くの被害を被った。5月7日、



陸軍小月航空隊の「屠龍」がB29に体当たりして八面山に撃墜した。現在その場所に日米両軍搭乗員の慰霊碑が建立され平和公園として整備されている。この時3人の米兵が落下傘で降下した。捕虜となった3人は宇佐空の将校が宇佐空に連行したが、司令の命令で中津警察署へ移送され、柳ヶ浦憲兵隊が西部軍司令部(福岡)へ護送した。数年前、岡田准一主演の「永遠の〇(ゼロ)」という映画が公開された。この映画のモデルとなったのが宇佐空だ。そのゆかりの宇佐空があった宇佐市へ撮影に使われた実物大の零式艦上戦闘機(零戦)21型が寄贈された。現在宇佐市は資料館(仮保管場所)を確保して公開している。宇佐空は昭和20年5月5日解散して西海海軍航空隊宇佐基地となって終戦を迎えた。柳ヶ浦には今も航空隊跡が残っている。農道となった滑走路跡、10基残っている掩体壕、正門の門柱、古びた庁舎、B29の空襲によって出来た爆弾池、機銃掃射の弾痕、忠魂碑などだ。近年、宇佐市は城井1号掩体壕を買収し市史跡に指定、宇佐空関係資料や特攻隊員の遺書の収集、海軍飛行服や予科練制服の複製等をはじめ、航空隊の正門跡地に遺構巡りの拠点として「宇佐空の郷(さと)」を開館した。更に宇佐市は平成32年度開館を目指して「宇佐海軍航空隊」を後世に伝える「宇佐市平和ミュージアム(仮称)」を予算20億円で滑走路跡そばに建設中だ。観光も視野に入れ大型バスも10台ほど駐車できる大駐車場を備える。終戦時に滑走路は1800m・隊員数約6100名だった。開館したら、当時の海軍パイロットから「艦爆艦攻のメッカ」「鬼の宇佐空」と呼ばれた「宇佐海軍航空隊」の歴史にふれ、平和の大切さ、命の尊さを感じてほしいと思う。



中津東高校第三十八回生・傘寿同窓会

市丸 幸子(31年商業科卒)

春のさわやかな天気にも恵まれた昨年の5月23日～24日一泊二日の日程で傘寿同窓会で山陰の小京都「津和野」歴史の町「萩」への旅に出掛けました。貸切バスで中津を出発し小倉駅で東京・大阪その他の参加者と合流し総勢33名でスタートです。山口に入り昼食後、瑠璃光寺(五重塔)を観光し津和野へと向いました。津和野殿町通り和紙工房等地元のガイドの案内で観光しました。其の後、宿泊先の萩観光ホテルへ向いました。高台にあるホテルからは海が一望に見られ素適な景観でした。いよいよ傘寿同窓会の大祝賀会のはじまりです。記念写真後、料理お酒に酔いしれて青春の思い出やお互いの近況等話題はつきませんでした。皆んな歳を忘れ歳にもめげず二次会の



中津東高校38回卒業傘寿同窓会 於：萩観光ホテル 平成29年5月23日

カラオケ大会へと大いに盛り上りました。

二日目の観光、松陰神社、松下村塾、萩城下町散策をして海鮮村で昼食です。その後、金子みすゞ記念館で年表により一生を詳しく知る事が出来、金子みすゞの詩の世界に魅せられました。楽しい旅の二日間はあっという間に過ぎ去りました。

還暦・古希・喜寿・傘寿と一泊二日の同窓会が今迄計画されて来ましたが、同期三八会の絆の強さや、役員の方々の努力の賜物と心より感謝です。歳を重ねるごとに体力の減退を感じる日々ですが、それなりに前向きに一日一日を大事にして又、お会いする機会を楽しみに過しましよと誓い合いました。



祝! ベストフレンズ17号発刊
監査 市丸 幸子 (31年商業科卒)
福岡東区 電話:092-671-2775

北九州支部総会だより

北九州支部長 成重 欽吾(39年商業科卒)

福岡支部会員の皆様ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。今回の「ベストフレンズ17号」の発行を心より祝してお慶び申し上げます。発行も今回で17号となり17年以上の年月を続けている事に対しまして誠に素晴らしい事と思います。

さて、北九州支部総会は平成29年9月30日にテーマ「広げよう同窓の絆」で門司の「ラ

メール雅」に会場を変え、総会が無事に開催出来ました事は、本部、福岡支部役員及び会員のご協力による事と感謝致しています。

前年までは、西小倉駅近くの新日鉄住金の「このみクラブ」で開催いたして来ましたが、社員の福利厚生のために、新しい施設に建て替える事となり、今年度から使用不可能となり、新規に会場の変更となり、会員の「杉本 登」氏の紹介により「ラメール雅」に会場が決定致しました。会場が新しく変わりました。皆様から好評を得ましてホット致しました。懇親会での演目はカラオケ・ビンゴゲーム・バナナの叩き売りで会場が盛り上がり特にバナナの叩き売りは好評で会員間での同窓の輪も広がり和気藹々に総会が無事に終了出来ました事に感謝致します。これからも本部、福岡支部役員及び会員皆様のご協力の賜物と思っています。本当に有難うございました。



「ウォーキングと私」

本部副会長 森山 良一郎(47年化学工学科卒)

「ベストフレンズ」17号の発行を祝し、心よりお慶び申し上げます。また、福岡支部の積極的な同窓会活動の取組みにこころより敬意を表します。現在、箭山如水会本部の副会長で同窓会活動に携わり、早いもので10年が過ぎました。前回(13号)は同窓会との出会いで寄稿させて頂きましたが、今回は趣味のウォーキングの取組みについて紹介させて頂きます。

福岡支部の会員の皆さん 寒い日が続いていますが毎日お元気に歩いていますか!! 私がウォーキングを始めたのは、今から10年前の55歳頃からです。経緯は昼休みに会社の周囲(約3km)を毎日歩いている従業員がいました。何が面白く歩いているのか尋ねると減量と健康管理と気晴らしの為と云われました。私自身も若い頃から体を動かすのが好きで40代は会社往復で毎日30kmを走っていました。その当時のことを思い出し、早速歩くことになりました。何でも夢中になる性格から毎朝4時に起床し、会社まで(6km)歩き

昼休みもお握りを片手に歩き、家まで歩き毎日2万から3万歩を日課にする様にしました。間もなく、行橋から別府の100kmウォーキングがあることを知り55歳の記念として参加することになりました。毎年、10月に開催される約5千人が参加する大会で、行橋から別府まで一睡もせず所要時間は20時間

で15万歩を歩きます。参加者は全国から集まり10代から80代の方達が歩き完歩率は6割程度と大変難しいウォーキング大会となっています。中津駅を通り宇佐神宮、日出町、別府湾と山道も多く最後は自分との闘いですが、完歩した時の満足感は歩いた者しか感じられなくゴールの後のビールの美味しさは最高で癖になります。

ウォーキングに嵌り、これまで100kmウォーキング5回、吉富町ウォーク(70km)4回、別大ウォーク(42km)6回、一人での中津から別府(70km)2回等、馬鹿みたいに歩きました。今では会社の仲間からアルツファイマーに引っかけ「アルキファイマー」と呼ばれています。今でも毎朝4時に起床し、会社の回りを10km歩いた後に仕事をするを日課としています。歩き始めてから約10年になりますが、70%あった体重が58%となり、今でもキープ出来ていることで、高血圧、糖尿病等とは無縁です。勿論、医者にも掛ってなく毎日元気になっています。寒い朝でも星空を見上げながら元気で歩けることに生き甲斐を感じているのは幸せと思います。私の様に歩く必要はありませんが、年を取ると足腰が弱くなりますので、毎日1万歩を目標に歩くことで、病気をせず健康で長生き出来ます。皆さんも明日から早速実行してみても如何ですか。私は歩くことで健康で辛抱強くなり、自治委員や防犯パトロール隊長等を務め、今後も同窓会活動や地域活動に少しでも貢献できる様に頑張りたいと強く思っているところです。最後になりましたが、福岡支部の益々のご発展と同窓会員皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げベストフレンズの寄稿とさせて頂きます。今年もお元気で頑張りましょう。



協賛広告ありがとうございます

祝! ベストフレンズ17号発刊

幹事 鴛海 哲明 (42年商業科卒)

福岡市早良区 usasuminoe2@mue.biglobe.ne.jp

祝! ベストフレンズ17号発刊

副支部長 森 正明 (45年土木科卒)

筑紫野市二日市中央 電話:090-4358-4751

アイランドパークの歴史(能古島)を尋ねて 梶屋 孝太郎(26年商業科卒)

能古島アイランドパークのはじまりは一人の若き青年の夢からスタートしました。創業者、久保田耕作が19歳の頃、高度成長期時代、都会の「低コスト・大量生産」には勝てないと感じ、能古島での農業を辞めて、賭けてきた夢に方向転換しました。これから先の未来は、街にはコンクリートの建物が並び、働き続けた人々は疲れた心を癒すために自然を求めようと考えた耕作は、それなら福岡都心に近い、この能古島で島の景観を活かして公園を作ろうと試行錯誤しながら、「アイランドパーク」を一から作り始めました。アイランドパークは昭和44年(1969年)4月に開園!自然を活かした公園作りを実現する為にはどうすれば



いいか?海が見える素晴らしい眺望や地形を活かしてパークを作れるように専門家に設計図を描いてもらいました。それからさつま芋畑だった土地にツツジや芝など多くの木々を手作業で植えてい

き、耕作が35歳の時、念願の「のこのしまアイランドパーク」が昭和44年(1969年)4月2日に開園しました。ジェットコースター等の遊戯施設は置かない!お花や樹木の自然公園を目指す!開園した当初、他の遊園地はジェットコースターや観覧車などの遊戯施設を置くのが一般的で、植物だけの公園に「何も無い」と失望するお客様の声もありましたが、「遊戯施設は置かないで、できるだけ自然の姿で、限りなく人工的なものから遠いものにしよう」と言う思いを貫き通しました。子どもたちが思いっきり走り回り、家族でお弁当を食べる、のんびり自由に自然の中で過ごして欲しい芝生で寝転がるお父さんや元気に遊ぶ子どもたち、楽しそうに過ごすお客さまを見て、耕作は嬉しく思っていました。19歳の時に描いた夢は正しかったと。荒地を切り開き、樹木を植え、花の種を蒔き、作り上げてきた公園は、多くのお客さまが自然の中で



のんびりと過ごせる、愛される「自然公園」になっていました。アイランドパークは懐かしさはそのままに少しずつ進化していきま。アイランドパークは、オープンして約50年が経ちました。その間、コスモス畑や花壇をつくり、福岡博覧会で展示された町並みを移築した「思ひ出通り」をつくり、宿泊できるコテージや西島伊三雄先生の作品を集めた美術館、レストランやカフェ、ミニ動物園、オリジナルスポーツ「のこのこボール」など、花と緑に囲まれながら、大切にしていきたい懐かしさを加えつつ現在に至ります。これからも、創業時の想いを受け継ぎ、自然や景観を大切にしながら、お客さまにいつまでも愛される自然公園「のこのしまアイランドパーク」でありつづけます。名物ばあば、のこのしまアイランドパークの有名なおばあちゃん/能古島妻である睦子さんです。耕作さんと死別して10年以上が経過しても、入り口近くでヨモギ団子や鶏のから揚げ、サツマイモの天ぷら、甘夏ジュースなどを販売。「みーんな大好きヨ。はい、どーぞ」と独特の言い回しで、元気に呼び込みを続けています。ヨモギやサツマイモ、甘夏などの食材は能古島産。昭和28年(1953)にのこのしまアイランドパークを計画し



た耕作さんを支え、鍬やスコップを手に、汗を流して切り開いた苦労があったそう。「能古島の農作物のおいしさを多くの人に知ってほしい」との思いから、今も売場に立っています。来園者が、田舎に帰省したような懐かしさを感じたり、リラックスするきっかけ作りになったりしている睦さんの一声。名物ばあば(最近テレビにも出ています)を見かけたら、ぜひパークの歴史や能古島の魅力を聞いてみてください。

編集後記

城戸崎 重夫
(40年商業科卒)



ベストフレンズNo17号をお届けします。

皆様方のご協力によりベストフレンズNo17を発行することができました。寄稿頂いた会員の皆様及び役員各位の賛助広告には厚くお礼申し上げます。ベストフレンズは箭山如水会員同士の活動情報誌として、大きな役割を果たしています。これからもベストフレンズが箭山如水会の情報発信元となり、更に充実した情報誌として一人でも多くの会員の皆様にご拝読頂ける様、取り組んで参ります。

協賛広告ありがとうございます

祝!ベストフレンズ17号発刊
顧問 梶屋 孝太郎 (26年商業科卒)
福岡市東区名島 電話:092-662-0786

経営のパートナー 税務・経理支援
代表 城戸崎 重夫 (40年商業科卒)
福岡市東区唐原 電話:090-4581-7676